SSH NEWS

熊本北高等学校
SSH研究部

2025.9.30　北高SSHニュース　Vol. 373

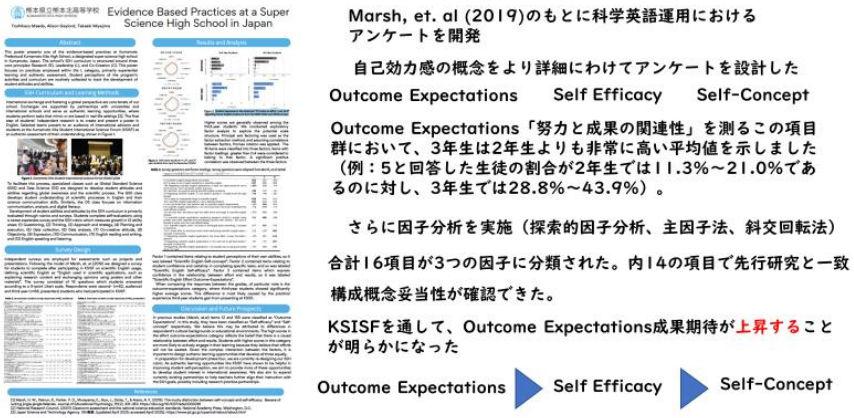
1年理数科　データサイエンス（DS）で国際共同研究の実証研究に参加しています

図1　DSの授業の様子（左）　国際共同研究ロゴ（右）

本校は、熊本大学半導体・デジタル研究教育機構のマジュンダール・リトジット准教授が進める国際共同研究加速基金研究の協力校として、AIを活用した学習支援システム「LA-ReflecT」の実証研究に参加しています。

9月11日の1年理数科DS（データサイエンス）では、「LA-ReflecT」の実証授業を行いました。DS担当の宮嶋先生による概略説明の後、熊本大学とインドエ科大学ガンディナガル校の先生方による英語での説明を受け、生徒たちはタブレットを使って、LA-ReflecTの効果的な活用法を学んでいました。また、学習者の視線分析などの機能も活用して、興味深く学習を進めていました。今後も、連携して実証研究に参加していきます。

KSISFの成果が国際学会で注目！



9月5日～7日に九州大学伊都キャンパスにて国際会議ICLEAが開催されました。この会議で本校主催の生徒国際科学フォーラム（KSISF）の成果についてポスター発表を行いました（図２）。KSISFを通した生徒の変容が国際会議でも注目されています。

図2　発表ポスターと概要
「Evidence Based Practices at a Super Science High School in Japan」

SSH NEWS

自然科学部　様々なところで活躍しています！

令和7年度 SSH生徒研究発表会に参加

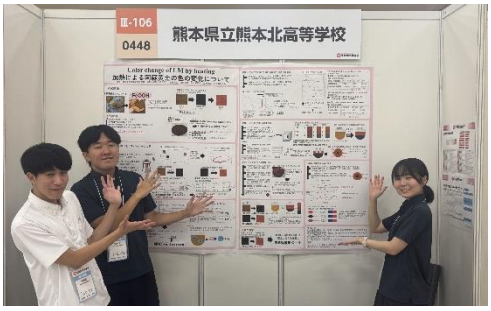


図3　発表会参加の様子

８月６日(水)、７日(木)に神戸国際展示場にて、全国のSSH指定校、経験校が参集参加し、SSH生徒研究発表会が開催されました。本校からは自然科学部化学分野の生徒が参加しました(図3)。全国のSSH校から集まった生徒や先生、審査員と交流を行いました。多くの助言や気づきを次の研究に生かしていきます。

青少年のための科学の祭典 熊本大会2025実験ワークショップに出展

８月23日(土)、24日(日)にグランメッセ熊本で記載された「科学の祭典」に自然科学部化学分野が出展しました。研究成果を簡単な実験にアレンジして2日間で480名の小学生にワークショップを行いました。生徒たちは実験講師として、食用色素を使った研究の成果を分かりやすく伝えていました(図4)。

図4 参加した自然科学部(左)とワークショップの様子(右)

ARⅡ　校内発表会へ向けて深化中！

２学期に入り、各班、これまでの実験結果を踏まえて話し合い、担当の先生とディスカッションを行っていました(図5)。データ採取の方法、データの信憑性、データのグラフ化などについて検討を重ねていました。一部の生徒は内発表会に向けてスライドの作成を行っているようでした。夏期休業中も生徒たちは実験に取り組んでいる様子がありました。10月には校内発表会が予定されていますので、今後の研究の深化が楽しみです。

図5　ARⅡでの様子